

トピック — 最近の野菜の農業産出額の動向と主要産地の特徴について —

最近の野菜の農業産出額の動向と主要産地の特徴について、「平成25年生産農業所得統計」をもとに紹介する。

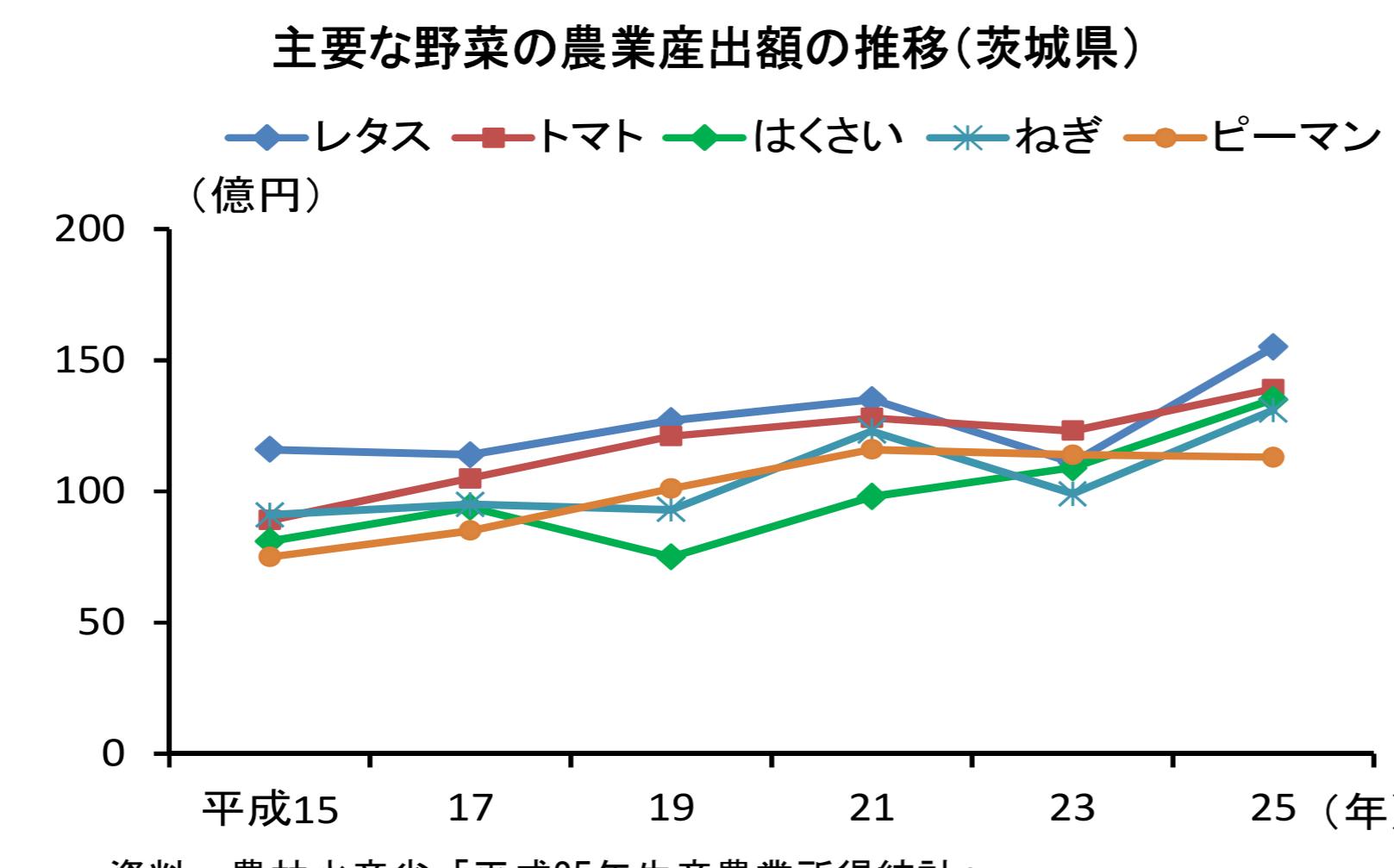
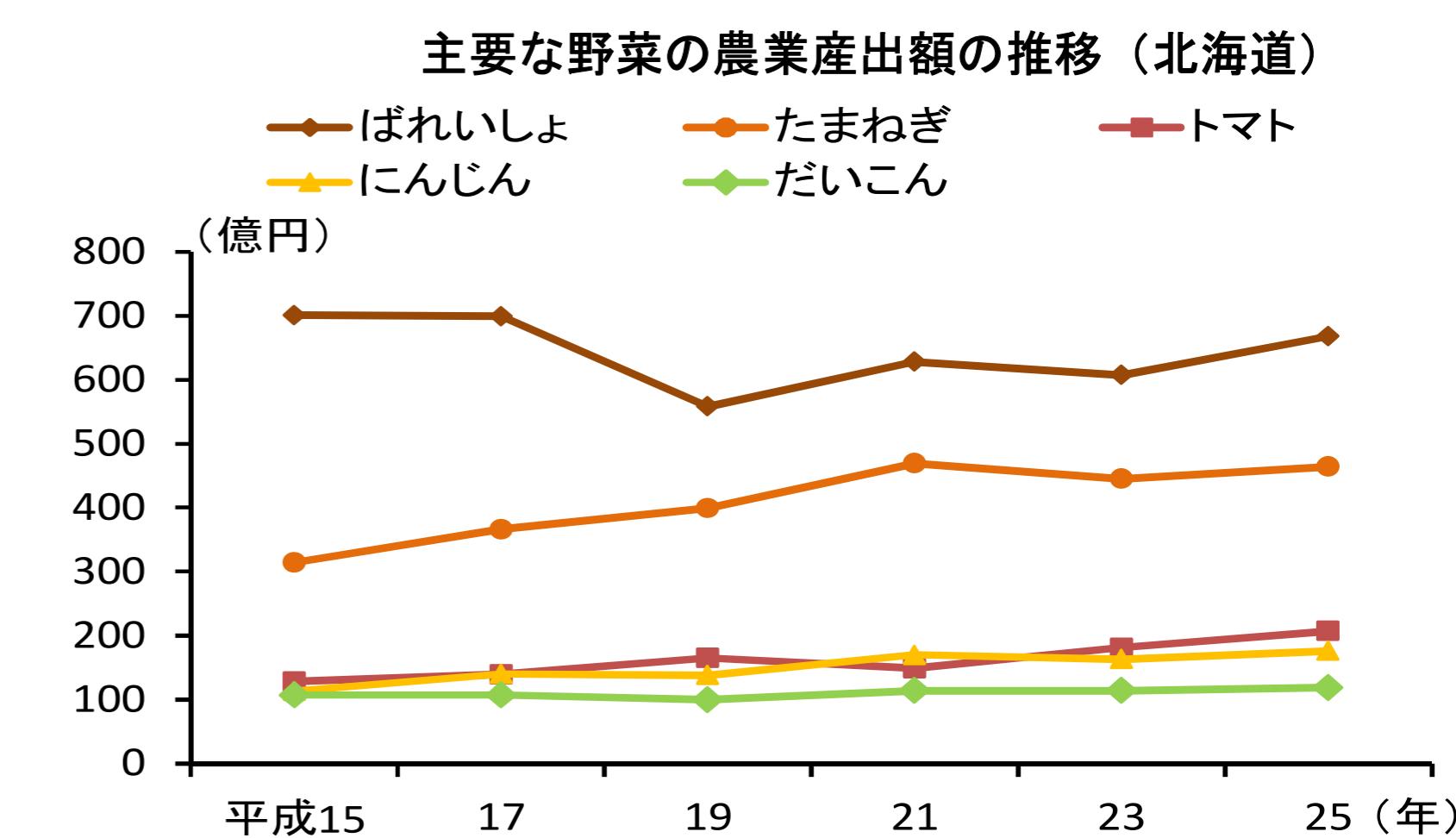
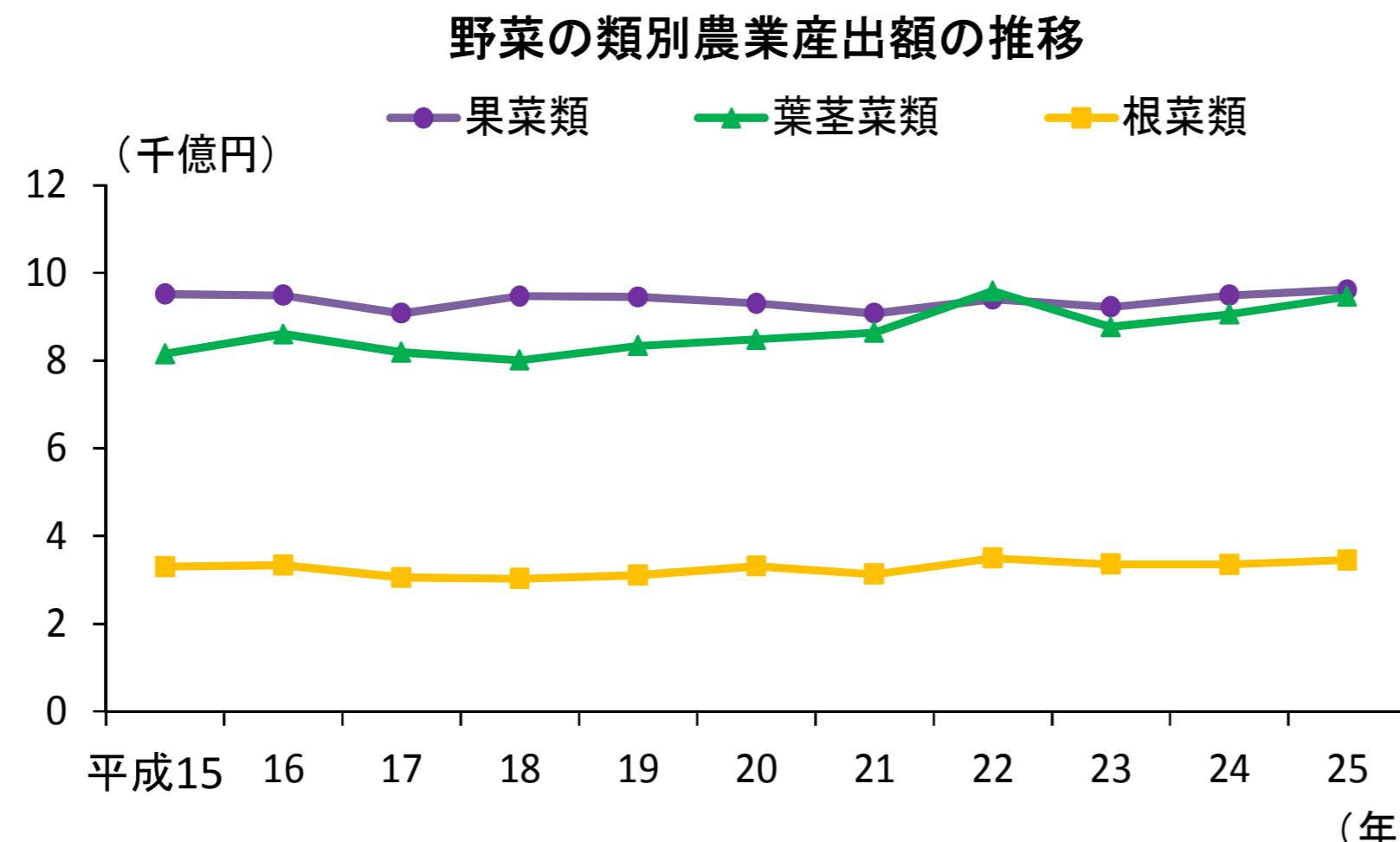
平成25年の野菜部門の農業産出額は、全産出額8兆4668億円の27%を占める2兆2533億円であり、畜産部門(2兆7092億円)に次ぐ第2位となっており、平成15年に比べて7.5%増加した。

野菜の類別に見ると、果菜類9615億円、葉茎菜類9467億円、根菜類3451億円であり、平成15年と比べると、それぞれ1.0%増、16.1%増、4.7%増であり、特に葉茎菜類の伸びが著しい。

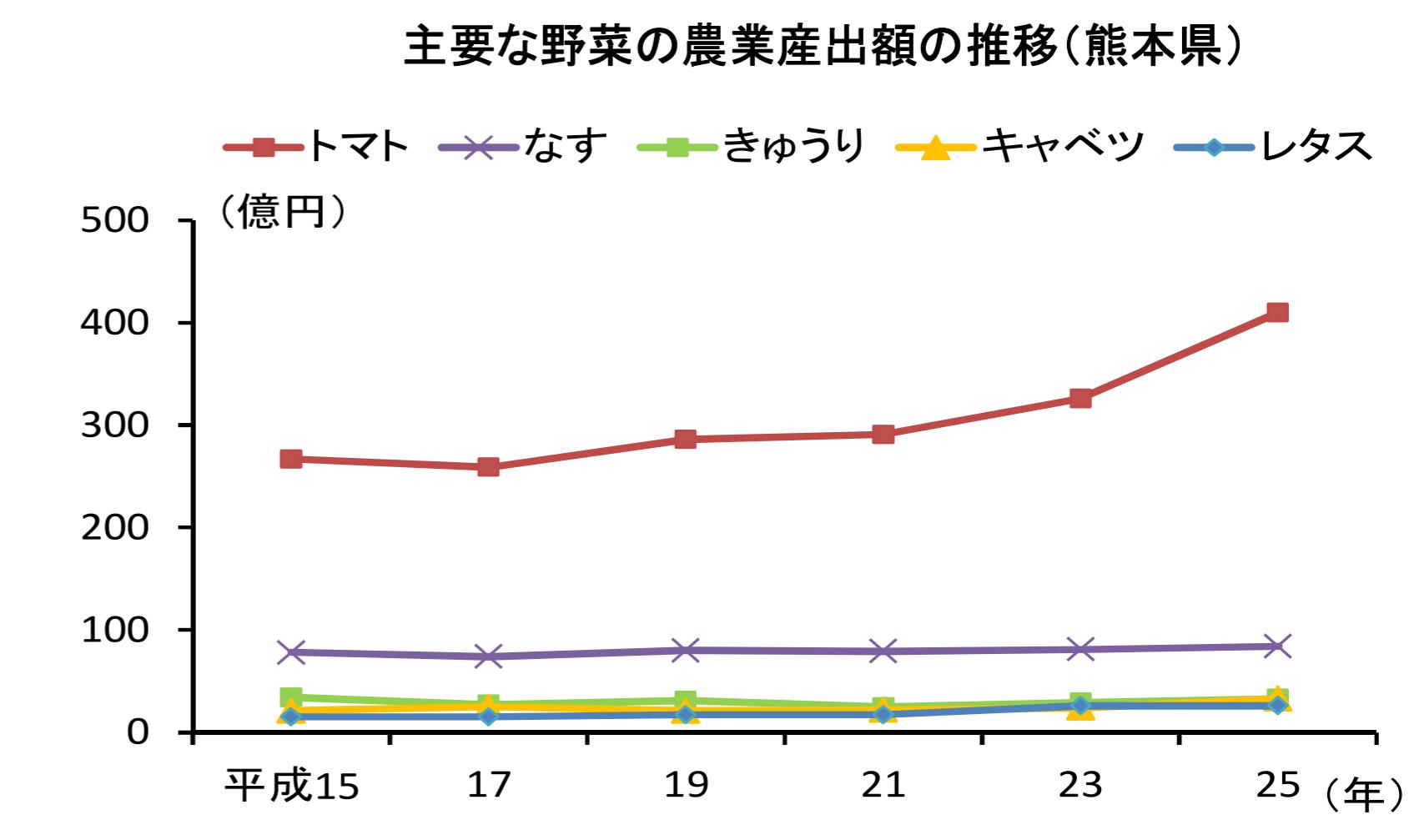
次に野菜の農業産出額が1千億円以上の主要産地を見ると、第1位：北海道1990億円、第2位：茨城県1767億円、第3位：千葉県1687億円、第4位：熊本県1172億円、第5位：愛知県1102億円であり、上位5道県で野菜全体の34%を占めている。また、これら上位5道県の主要産地の品目別の動向を15年対比で見ると、北海道は、たまねぎ148%、トマト162%、にんじん156%、茨城県は、はくさい167%、トマト156%、ピーマン151%、ねぎ144%、レタス134%、熊本県は、トマト154%と、それぞれ大幅な伸びを示している。このほか、愛知県はキャベツ182%、トマト121%、千葉県はキャベツ147%が伸びている。

このように、主要産地では、その立地特性を活かし、需要が堅調な加工・業務用向け野菜をはじめとした、各々の強みのある品目を中心に生産拡大の動きがみられる。

また、従来の主要産地以外の地域でも、米からの作目転換や農業所得の拡大を図る観点から、野菜の生産振興を強化する動きが各地で見られており、主要産地の拡大とともに新たな産地形成の進展が期待されている。



資料：農林水産省「平成25年生産農業所得統計」



●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 戸田、河原、斎藤、海老沼 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.htmlに掲載しています。

※無断転載禁ず レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。